

令和5年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	大和市上草柳児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター上草柳会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合 計	1日平均	開館日数 (日)
上草柳	106	1,673	386	156	2,321	7.5	308

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

月	事業名	開催期間	参加者数
4	春の工作(プラバンでキーホルダーづくり)	4/7～4/29	20人
5	母の日プレゼント工作(フェルトのコースターとカードづくり)	5/2～5/14	20人
6	防災訓練	6/4	2人
	父の日プレゼント工作(ハーバリウムボールペンとカードづくり)	6/8～18	27人
	森先生の科学教室(バスボムロケットをとばそう)	6/18	27人
	Cブロック研修会	6/19	4人(指導員)
6・7	七夕飾り・短冊	6/23～7/2	2人
7	七夕のつどい(映画鑑賞・交通ルールの話・短冊・ゲーム)	7/2	35人
	指導員セミナー	7/7	2人(指導員)
	夏休み工作Ⅰ(平面ルービックキューブづくり)	7/5～7/13	21人
7・8	パズルに挑戦(40枚のパズル)	7/21～8/3	42人
8	夏休み工作Ⅱ(スライムのクリームソーダづくり)	8/4～8/23	24人
	夏休みお楽しみミニ縁日(けん玉・わなげ・射的)	8/24～8/27	42人
9	工作(カタカタおとし)	9/7～9/24	14人
10	工作(アイロンビーズづくり)	10/10～10/18	28人
11	食物アレルギー研修	11/7	1人(指導員)
	工作(シャカシャカ UV レジンづくり)	11/8～11/18	33人
12	防災訓練	12/5	14人
	クリスマス工作(ステンドグラス風クリスマス飾りづくり)	12/5～12/8	23人
	クリスマス会(ジャグリングのパフォーマンス・クリスマスの話・ゲーム)	12/10	67人
1	千支工作(辰の絵馬づくり)	1/9～1/31	15人

2・3	おひな様工作（押し絵のひなかざりづくり）	2/7～3/3	17人
2	森先生の科学教室（カイロづくり）	2/17	20人
3	工作（アイロンビーズ）	3/15～31	22人
	新1年生にプレゼント工作（児童館の利用案内と入学祝いのカードづくり）	3月中	23人

2. 収支決算概要

（単位：円）

収 入		支 出	
指定管理料 （市が指定管理者に払った金額）	2,976,033	雇用関連経費 （指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額）	2,773,694
雑入 （預金利息等）	6	事業費 （指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額）	136,203
収入計(①)	2,976,039	支出計(②)	2,909,897

収支決算	66,142
------	--------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和6年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和5年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行してからの運営について、工作や行事を通して昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果（前年度対比約198%増）になったことについて、高く評価します。 ・「じどうかんだより」を年に4回発行し、イベント情報は子ども会への回覧や掲示、小学校への掲示依頼など、児童館の情報の周知を促している点について、高く評価します。 ・子どもたちの意見を聞き、人気のおもちゃや、本などを増やしていることは、子どもたちが児童館を継続して利用するだけでなく、児童館の満足度にもつながるため、高く評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・工作は、昨年度とは異なった内容を実施し、児童の創作意欲の向上と、児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・森先生の科学教室については、募集時はあまり人が集まらないという課題はあるものの、子どもたちの知識を高め、貴重な経験となる企画であり、他の児童館にはない特徴であり、高く評価します。
評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。 ・施設内だけでなく、施設外を巡回し、普段見かけない大人には声掛けをするなど児童館を利用する方々が児童館に来るまでの安全を確認している点を評価します。
評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。